



2018年7月18日

【借入人の概要】

本借入人は東京都内に本社を置き、情報通信サービス事業に関する調査・企画立案、製品販売およびサービス運営に関するコンサルティングを手掛ける企業です。現在はIoT関連のビジネスを情報通信の面から支える「LoRaWANTM」(*)のサービス普及とビジネス拡大に注力しており、同通信規格の仕様策定と活用促進を担う世界規模の団体にも加盟している企業です。

(*)LoRaWAN(Long Range Wide Area Network): 低電力・低コストで長距離無線通信が可能な通信規格の一つ。無線通信にはライセンス不要の920MHz帯の周波数を利用する。GPSを用いない位置情報の取得や双方向通信が可能であることなど、ビジネス利用において期待される機能も備えている。

貸付条件

貸付金額	30,000,000円
貸付利率	15.00%
想定利回り (税引前)	11.00%
営業者報酬	4.00%
借入期間	18ヶ月
返済方法	元金一括返済(期限前償還あり)
担保	有
保証	無

【借入の目的】

本借入人は、LoRaWANTMの商用サービス開始に先立つ実証実験の準備を進めています。既に、センシング技術の開発や商品化を行う事業者やIoT関連のサービス事業者を募って、現在10社前後の参画企業の選定を終えると同時に、首都圏のある自治体の協力により公共施設内にLoRaWANTMゲートウェイ基地局を設置する許可を取得済みです。実証実験ではガスメーターの検針や高齢者のみまもり、河川の監視など様々なテーマの検証が予定されており、参画企業の中には商用サービス段階で本借入人との協業を予定している企業が複数社あります。このようにビジネスの展望が良好であることも追い風となり、現状、本借入人としては実証実験のスタートが急務となっております。

データが発生する場所をゲートウェイ基地局のカバーエリアとして網羅するには相応の数のゲートウェイ基地局(～50台程度)を早急に準備する必要があるため、本借入人はゲートウェイ基地局(ハードウェア)の調達と設置、ネットワーク運用基盤のシステム構築等、実証実験に係る一連の費用を当社トラストレンディングを通じて資金調達することを希望しております。

【募集金額】

本ファンドでの募集金額は30,000,000円となります。本ファンドの募集を含めて総額300,000,000円の募集を予定しております。

追加募集につきましては本借入人の資金需要の状況に応じて適宜ご案内させていただきます

【担保】

ゲートウェイ基地局(ハードウェア機器)に対して動産譲渡登記(譲渡担保)を行います。動産譲渡登記は、本件貸付により本借入人がハードウェア機器を取得された後、速やかに行います。

【資金使途】

以下の事業資金・運転資金として使用される予定です。① 当該実証実験で利用する機材の調達・設置等に係る費用

- ② 当該実証実験の運営・管理に関する労務費・外注費等
- ③ 本ファンドからの借入金にかかる経過利息
- ④ 譲渡担保の契約・登記に係る諸費用
- ⑤ 上記各号に付随する費用

【返済原資】

本借入人は当該実証実験の終了後に、全国に多数の拠点を有する大手企業との業務・資本提携を予定しており、それにより商用サービスとしてLoRaWAN™ネットワークの利用料や保守メンテナンス料等の安定的な収益源を確保する計画です。

なお提携先の相手方企業は、2020年東京オリンピックのJOCゴールドパートナーとなっている大手企業で、市場からはIoT関連のサービス事業者としても期待されています。

本件借入の返済は、当該提携相手先企業との業務・資本提携によって得られる資金を原資とします。

当社としては、市場におけるIoT関連ビジネスならびにLoRaWAN™の普及に対する期待感に加え、本借入人を取巻く協業・提携の見通し等を慎重に評価した結果、本件借入によって実証実験がスムーズに実施されれば、提携相手先企業との商用サービスに関する合意形成も早期実現されることとなり、本借入人からの返済が計画通りに実行されることが十分可能であるものと判断しております。

【スキーム説明】



※上記内容は予定であり、想定利回りや案件内容に変更が生じる場合があります